教育の町『おおつち』かわら版

おおつちは、「0 歳から 18 歳までの一貫教育」「ふるさと科」
「コミュニティ・スクール」そして、「けやき共育」のまちです。

令和７年９月 30 日(火)　No. 28

文　責
教育委員会学務課　米沢　俊哉

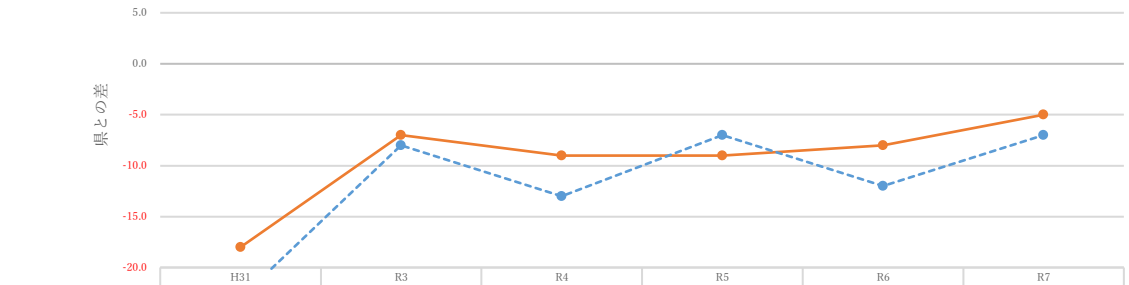
○全国学調　９年生の確かな学力向上　６年生も学び方の工夫等の向上が見られる

先日、全国学力状況調査の結果が発表されました。大槌町の子どもたちの結果から多くの学びの成果を感じることができました。

まず、９年生の９年間での確かな学力の向上です。下のグラフは過去６年間の９年生の全国学調の経年変化です。未だ県平均を下回ってはいますが、以前に比べ確実に県との差が縮まっていることが分かります。これは、大槌の先生方の９年間の一貫教育の指導の賜物と考えています。

中学校
（９年生）

【大槌町の９年生の全国学調の経年変化（県との比較）】

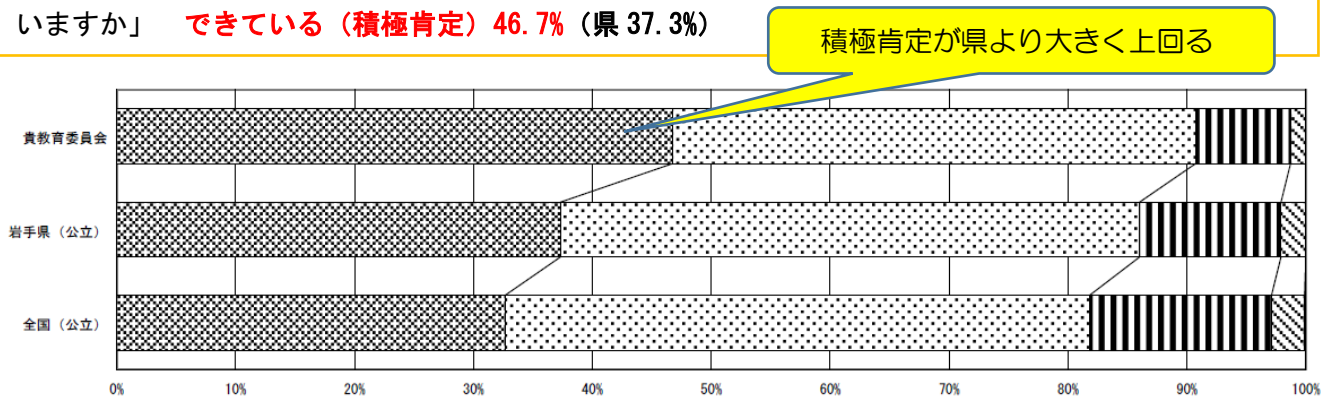


	H31	R3	R4	R5	R6	R7
国語県との差	-18.0	-7.0	-9.0	-9.0	-8.0	-5.0
数学県との差	-23.0	-8.0	-13.0	-7.0	-12.0	-7.0

次に、質問紙調査から大槌の子どもたちの様々な「目に見えない学力」の伸びも見えてきました。

６年生では、「自分で学び方を考え、工夫すること」に関して県より約 10%積極肯定の回答が上回りました。

【全国学調　大槌町６年生質問紙】
「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」　できている（積極肯定）46.7%（県 37.3%）



同様に「５年生までに受けた授業は、授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の項目で、６年生も積極肯定は 52.0%（県 39.2%）で県を大きく上回りました。同じ質問で９年生も、積極肯定が 32.4%（県 26.6%）と県を上回りました。

これは先生方が子どもたちに寄り添った授業をし、個別最適な学びを授業の中に取り入れている成果なのではないかと考えます。

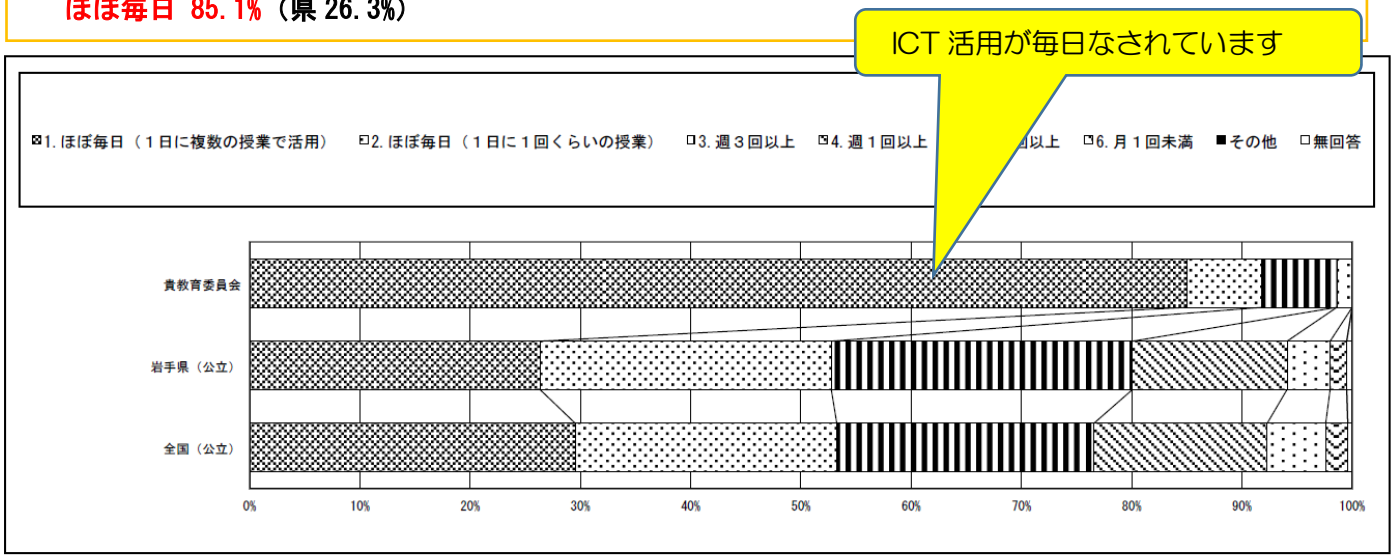
また、６・９年生共に ICT 活用の項目については、積極肯定が国・県を上回る回答が多く、町内の先生方が ICT を毎日活用することで、大槌町の子供達の学びが充実していることがわかりました。

例えば、「５年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」では、「ほぼ毎日」が 42.7%（県 16.8%）、同じ質問で９年生も積極肯定が 85.1%（県 26.3%）という驚異的な結果になりました。ICT 機器を使っての情報を整理する力の伸びも連動していました。

【全国学調　大槌町９年生質問紙】

「１・２年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」

ほぼ毎日 85.1%（県 26.3%）



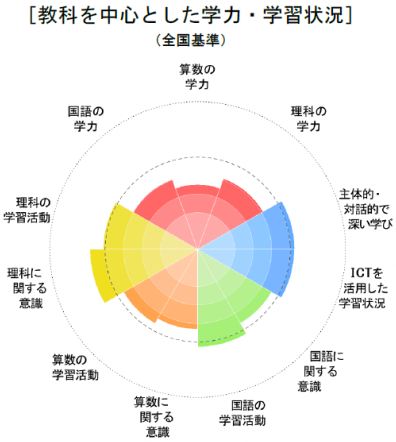
下のチャートは「教科を中心とした学力」（左）と「その他の学力・学習状況（学習習慣・自己有用感等)」を全国基準と比べたものです。

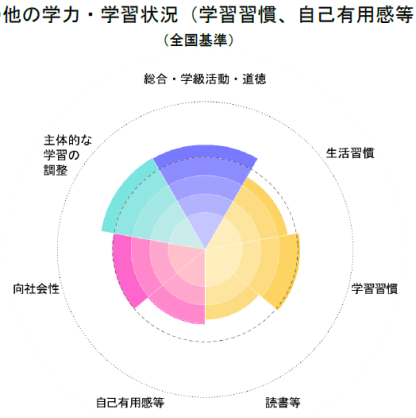
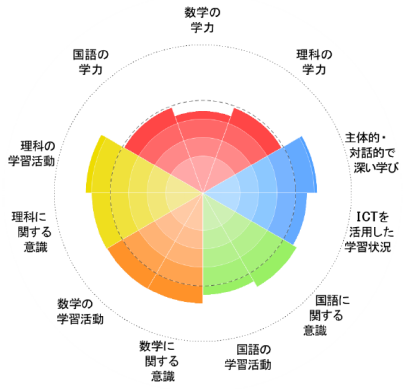
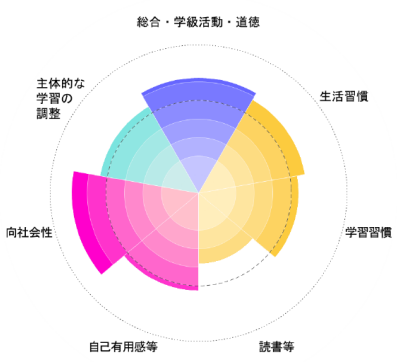
左のチャートからは、「主体的・対話的で深い学び」や「ICT を活用した学び」の力がついてきていること、右のチャートからは「ふるさと科」の学習の充実やボランティア、友達への思いやりの心などの「向社会性」が育っていることが分かります。

この「全国学調」や「大槌町学力検査」を分析することで、町の重点として取り組んでいる個別最適な学びや協働的な学び、ICT 活用などについて大槌の子どもたちが確実に力をつけてきていることが分かりました。調査をぜひ授業改善や学級経営等に生かしていただきたいと思います。

令和７年度全国学力・学習状況調査結果チャート（大槌町６年生７５名・９年生７４名）

【６年生】





【９年生】